

國民教育
は未だし

宗教の利
用と國家
觀念の養
成

をして清國の爲めに其の進運發達を助成し得る底の國民たらしめんことは、到底不可能たるを免れざるなり。殊に常識徳操なく、國家觀念なき彼等は、一朝有事の日翻て他國の爪牙と爲りて、母國に向ふ無きを保せざるなり。

苟も新疆人民をして、多少清國の富強文明に貢獻すべき國民たらしめんと欲せば、國民教育を施行すべしとは、何人も思量する所なるべしと雖も、开を現時の新疆民に對し急激に施すことの不可能なるは、義塾を設立して失敗せし前轍に徴して明なり。

國民教育を普及せしむるは、支那本部の人民に對してすら非常の大難事にして前途茫々の嘆あらしむる現状なるに、遊牧若くは半遊牧の状態に在る新疆民に對して、今日俄に之を斷行せんとするは、到底望むべからざるなり。若し強制的に之を施さんとせば、却て彼等の反感厭惡を招き、民心の乖離を來すの虞あり。因て當分彼等が信奉する宗教の力を利用し、其僧侶（回族民は喇嘛僧）の内、智識操行の善良なる者を選抜し、之に教導職を授けて、男女兒童を各禮拜堂に集め、大要左の如き卑近なる初等教育を授くるを可とす。但し皆各宗の經文を基礎とし、彼等の風俗習慣